

東京白楊だより

vol.45

R04 8.24(2022)

白楊ヶ丘同窓会東京支部
旧制函館中学校 函館中部高等学校
<http://kanchu.tokyo>

会員短信

第87期 岩本美雪

第64期 佐藤宣践

函・中・人

第46回オンライン
親睦大会ご案内

第45回親睦大会報告

「限りなき流転のなかに…」 進化する同窓会



白楊ヶ丘同窓会東京支部長
第76期 昭和49年卒
白川正広

新型コロナウイルスについての各種規制は一定程度緩和されてきましたが、新たに感染拡大するような報道も散見されています。私たちの同窓会活動も、本来、「世代を超えた大勢の仲間が一同に会し、大いに飲食し、お互いに語り合う場」を提供するものですので、「三密」の条件がそろうています。多くの活動を自粛せざるを得ない状況がほぼ3年にわたり続いております。振り返りますと、2020年は、新型コロナウイルスの脅威が見通せず、役員間の少人数の会議も従来のように対面で開催することはままならず、急遽、手探り状態でリモートの会議をもち、何ができるか模索しました。結果として編集作業等の目的で集まることもできなかったためページ数を大幅に減らした「会報」を発行するのが精一杯でした。

2年目の、昨年2021年も社会全体としては大きな変化はなく、相変わらず、新型コロナウイルスのための自粛を余儀なくされる状況にありましたが、何名かの役員の実務体験をもとに、「秋の大会をリモートで開催する」という方針を春の段階で決めました。

「リモート開催」のメリットを活かし、本番当日、函館から、校長先生や函館の同窓会本部の役員にご挨拶をいただくことに加えて、校舎内や屋上から見える景色の中継などを教頭先生に行ってもらいました。平成の初期に建て替えられた校舎は、関東在住の多くの同窓生にとって足を踏み入れたことがない空間であり、高校生の時に見た屋上からの景色と違った校舎内や周辺の風景も斬新なものでした。

また、前年に出番がなかった「50歳になった期」として、90

期の皆様に幹事期としての企画運営をお願いしました。函館在住のメンバーのご協力をいただき、函館の街の今昔の写真から成る動画で大会を盛り上げていただきました。

肝心の参加者は、最高齢85歳から最年少35歳、総数122名でした。参加者平均年齢は61歳で、新型コロナウイルス以前のリアル開催の大会と大きく変わらない年齢分布となっておりまして。

さて、今年の秋も、11月5日（土）に、昨年と同様、リモート同窓会を予定しております。気軽に参加いただいていた従来のリアル会場での方式と比べて、ご自宅でパソコンかスマホを使っていない方はご参加できないなどの制約はあるものの、一方で、わざわざ都心の会場まで電車に乗って移動する必要もなく、一度、接続方法を覚えたら手軽に参加することが出来ます。昨年は函館からも幹事期を中心に何名かのご参加者がありました。口コミで、東北や関西方面、さらには海外在住の方にも参加を呼び掛けることが可能であり、同窓の輪が広がることを期待しております。

同窓会の形式は、皆さんも暗唱しておられる函館中部高校の校歌の四番に「限りなき流転のなかに…」と歌われておりますように、時代の変化とともに形を変えていくことも、ある意味で必然なのかと思えます。今後の同窓会の運営などに関しまして、ぜひ、会員の皆様からの前向きなご意見なども頂きながら、変化する状況に適切に対応していきたいと考えております。引き続き、皆様のご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

「高い志をもち、次世代を創造する 人間の育成」を目指して



北海道函館中部高等学校
第40代校長
佐竹卓

白川支部長様をはじめ、白楊ヶ丘同窓会東京支部の皆様には、日頃より本校の教育活動へのご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。誌面をお借りして、学校の近況等についてお話しさせていただきます。

(1) 理数科設置

本校は、今年度から新たに理数科が設置されました。1学年の理科の構成は、普通科が4クラス、理数科が1クラスの5クラスとなっております。理数科では、科学的現象に興味を持ち、理科や数学等の専門性を高め、その専門性を将来にわたって追究しようとするスペシャリストを育成していきたいと考えています。

(2) スーパーサイエンス ハイスクール（SSH指定校）

文部科学省よりSSHの指定を受けて3年目を迎えています。普通科の生徒たちも理数科の生徒たちも、大沼の自然環境調査、課題研究の発表、大学の先生方の講演会や研究施設を訪問するなかで、自らが問いを立て、その問いを解決するための探究的な学びを深めています。

本校のSSHの進め方等について、ご意見やご助言等をいただく運営指導委員の8名の先生方の中には、本校卒業生の東京大学大学院総合文化研究科の松田恭幸教授、室蘭工業大学システム理化学科の庭山聡美教授、京都産業大学生命科学部の寺地徹教授のお三方に入っていたり、様々な視点からご指導をいただいております。

(3) 地域医療を支える人づくり プロジェクト（医進類型指定校）

医学部を目指す生徒たちに、道内医学部教授を招いての出前講義、函館市内及び近郊の医療機関等に

(4) 進路状況等

この3月に卒業した233名の合格状況についてお知らせいたします。国立大学延べ151名、私立大学延べ236名、高等看護学校延べ12名、専修学校2名、就職1名となっております。特に、国立大学151名の現役合格は、卒業生在籍数の約64.8%という、過去最高の合格率となりました。私立大学においても、早稲田・慶応・明治・立教・法政・中央・上智・青山学院・東京理科大学など多くの難関大学に進学しております。

(5) 部活動

部活動においては、全校生徒の加入率が90%を超える中、テニス

部、陸上部、剣道部、柔道部、バスケ、トボール部、弓道部、卓球部、水泳部、放送局など多くの部活動が全道大会へ出場し、その中で、陸上部、弓道部、水泳部、放送局が全国大会への出場を果たしています。

(6) 結びに

本校は、「高い志をもち、次世代を創造する人間の育成」を学校教育目標に掲げています。この学校教育目標を達成するため、「白楊魂」に象徴される函中生としての誇りを大切にして、未来を見据えた教育活動に積極的に取り組んで参ります。同窓生の皆様にはこれからも本校へのご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、白楊ヶ丘同窓会東京支部の皆様のご健勝をご祈念申し上げます。



第45回

親睦大会報告

白楊ヶ丘同窓会 東京支部



会場に集まった理事会メンバーと90・91期の皆さん

2021年11月20日(土)、白楊ヶ丘同窓会東京支部第45回親睦大会が行われました。

前年度は残念ながらコロナ禍で中止となりましたが、今までと違う形で開催できないかと模索し、検討を重ねた結果、今回はZOOMを利用したオンラインで行うことになりました。事前打ち合わせや一週間前のZOOM接続トライアルなど、初めてのことに戸惑いながらもなんとか開催にこぎつけました。当日の会場には、理事会メンバー、幹事の90期生、91期生のみが参加し、マスク着用です。皆さんが上手くZOOMで参加できるか心配でしたが、開会時間が近づくにつれ、結果的にZOOMの人数が増えていき、結果総勢123名となりました。

■開会



司会：岡部あさ子さん

78期岡部あさ子さんの司会によりスタートです。ここで、今回オンライン開催を技術サポート

していただく小瀬様にもご挨拶いただきました。



サポート：小瀬様

同窓会歌をZOOMにて流しました。

■支部長挨拶
白楊ヶ丘同窓会東京支部長76期白川正広氏よりリモートにてご挨拶がありました。



支部長挨拶

白楊ヶ丘同窓会副幹事長84期青田基様と函館中部高校佐竹卓校長先生ともにリモートで言葉をいただきました。



84期青田基様

■乾杯
参加の皆さんにそれぞれ好きな飲み物をお手元にご用意いただきました。乾杯のご発声は81期松永久氏です。松永様は当日会場での参加でしたが、残念ながら会場ではアルコールは控えていたため、ノンアルコールでの乾杯となりました。



ノンアルコールで乾杯!

■幹事挨拶
90期代表の和田忍氏よりリモートで挨拶がありました。

■次期幹事挨拶
91期代表の吉井恒子氏より挨拶がありました。91期の皆さん、今回の親睦会宜しくお願い致します。



91期の皆さん

■新入会員紹介
でしたが、残念ながら今回の出席者はありませんでした。次回の期待を込め、89期の沙見和人氏に、今度の同窓会の展望などを話していただきました。

■校歌斉唱
会場での斉唱は取りやめにし、それぞれの心の中で斉唱。最後



(90期 鹿野祥子)

■記念撮影と閉会
会場の参加者とZOOMでの参加者(モニター画面)とで記念撮影。貴重なZOOM初開催の記念となりました。

今回のZOOM開催では、思ったよりも幅広い年代の方にご参加いただくことができました。また、遠方からの参加も可能になるため、リモート開催の良い面も感じられました。終了時ZOOMチャットに皆さんからの感謝のコメントをいただき、一同感激でした。今回の反省を踏まえ、次回またZOOM等の新しい形での開催を模索していければと思います。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

■企画 2

「函館の今」と題した2番目の企画は、コロナ禍で函館に帰省が難しい今、皆様にバーチャル帰省してもらおうというものです。飛行機で函館入りするショットから始まり、今の函館の市中の写真やスライドで流しました。時々昔の懐かしい映像も交え、五稜郭、中島廉売、駅前と移動し、最後は函館山からロープウェイで下るスピード感あふれる動画で終了です。短い時間でしたが、写真一枚ごとに皆さんの反応が感じられ、楽しんでいただけたようです。函館各地に思い出が詰まっていますよね。

また、プチサプライズで、90期で世界的マジシャンであるメイガス氏の撮り下ろしマジック動画をご覧いただきました。



「函館の今」

■歓談タイム



歓談タイムの会場

ZOOMでの開催ですので席を移動したりなど通常の歓談のようにはいきません。今回事前に参加者にアンケートして、卒業期・部活・出身中学を回答してもらい、それをもとにZOOMに振り分け、共通の話題からお話を広げていただく、という形にしました。この方法でも決まった人とは話せないわけではなく、他のZOOMに移って話いただくことも可能です。まずは卒業年の近い方たちで集まっていたのですが、その後の数回の歓談タイムで、部活へ移動したりお好きなZOOMへ顔を出される方もいました。

■企画 1

「函中の今」と題した最初の企画は、文字通り函館中部は今どうなっているのか?どんな校舎なのか?を函中と会場とを繋ぎ、リアルタイムで中継していただくというものでした。現地(函中)では北川教頭先生にご協力いただきました。現在入学希望生に公開している学校紹介の動画(函中の放送局の生徒たちが作成したものだそう)をご覧いただいた後、北川先生に校内を廻っていただき、玄関ホールから最後は屋上からの眺望まで(函館山に光がさし、とても良く見えました)コメントを交えながら紹介していただきました。古い校舎しか知らない世代にとっては、うらやましい限りの立派な校舎でした。参加者の皆さんにもとても好評でした。



「函中の今」

第45回 親睦大会出席者一覧

2021年11月20日(土) (敬称略)

来賓

函館中部高等学校 校長 佐竹卓
 函館中部高等学校 教頭 北川能貴(89期)
 白楊ヶ丘同窓会 副幹事長 青田基(84期)
 白楊ヶ丘同窓会札幌支部 幹事長 酒井純(75期)

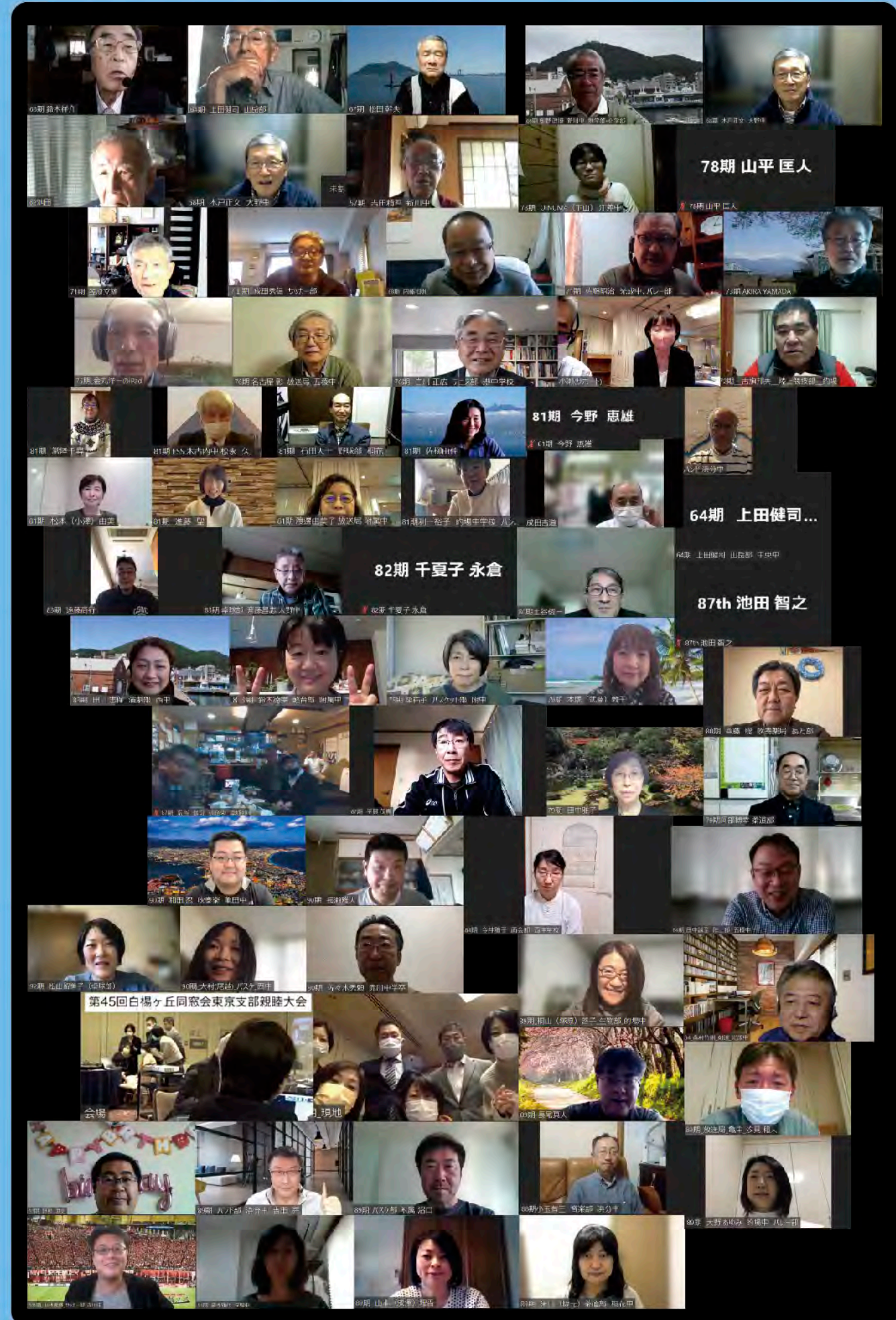
- 57期 昭和30年卒 吉田精吾
- 62期 昭和35年卒 池田長
- 63期 昭和36年卒 鈴木祥介
- 64期 昭和37年卒 上田健司
- 67期 昭和40年卒 松田 幹夫
- 68期 昭和41年卒 内藤和明 木戸正文
- 69期 昭和42年卒 伊東英一 奥野政博 河村裕
梅田五郎 梅田やよい
- 71期 昭和44年卒 笠原文雄 出崎太郎 佐藤昭治
成田秀信
- 72期 昭和45年卒 若林靖史 古旗邦夫
- 73期 昭和46年卒 山田朗
- 75期 昭和48年卒 金丸洋一
- 76期 昭和49年卒 白川正広 名古屋彰
- 78期 昭和51年卒 斯波宇司 生沼信恵
岡部あさ子 垣坂清
山平匡人 成田吉道
宮崎恒春
- 79期 昭和52年卒 高橋政章 柴祐子 小林聖子
田中雅子 本塚敦子
阿部博幸
- 80期 昭和53年卒 齊藤聡 土谷俊一
- 81期 昭和54年卒 松永久 今野恵雄 佐柳由佳
松本由美 常陸千尋 進藤聖
石田人士 渡邊由美子
利一裕子
- 82期 昭和55年卒 永倉千夏子
- 83期 昭和56年卒 遠藤高行 齊藤昌志 田口志保
鈴木徳美
- 84期 昭和57年卒 桑村竹則 今井雅子
江原みちな 田中誠至

- 85期 昭和58年卒 加戸茂樹 渡邊朋子
渡邊博幸
- 86期 昭和59年卒 根上健 宮脇智恵子
- 87期 昭和60年卒 池田智之 荒谷修司
三十苺俊之 平賀茂貴
末永健 中里孝史 高坂拓也
海老名徹 栗山ゆかり
櫻井直人 澤口亜樹 田中洋
山科直樹 渡辺岳夫
星川佳寛 高橋正人
鈴木重元 坂口郁夫
大屋知子 吉田真理
有澤正敏 山田明 小川薫
松本伸子 橋本純二
神田享彦 田中純子
古川祥司 三上洋子
松本篤史
- 88期 昭和61年卒 小玉有三
- 89期 昭和62年卒 吉田亮 山本理香
大野あゆみ 米山理代
沼口健二郎 桐山啓子
長尾真人 汐見和人
佐々木秀頼 石井清香
長瀬雅人 和田忍 大村昌子
田中秀希 三上獲 相原直美
立野啓子 新井久仁子
鹿野祥子 志田郁子
吉井恒子 野中典代
藤田貢崇 中村敦子 旭悦子
山口佳子 奥美穂子
- 90期 昭和63年卒 松山留美子
- 91期 平成元年卒 藤本雅代
今田光信
野村武史
小林秀輝
- 92期 平成2年卒
- 93期 平成3年卒
- 96期 平成6年卒
- 97期 平成7年卒
- 105期 平成15年卒

参加者合計 123名
(来賓4名、一般119名)

91期の皆さん！ Zoomで懐かしい顔に再会しませんか？

今年は私たちが親睦大会の幹事期。
 道南にちなんだクイズと同期の藤田貢崇さんによる解説を行います！
 詳しくは本誌8ページをご覧ください
 お問い合わせはこちら：event@kanchu.tokyo



白楊ヶ丘同窓会 東京支部

第46回 オンライン 親睦大会のご案内

2022年11月5日(土) 14:00開演(16:30終了予定) **参加費無料**



「春の五稜郭 箱館奉行所」第67期 松田 幹夫

Zoomで会いましょう



皆さまこんにちは。今年度の親睦大会の幹事は、入学当時から「新人類」と呼ばれ先生たちを悩ませた(?)、平成元年3月卒業の91期のメンバーが担当します。どうぞよろしくお願いいたします。91期からは、「藤田貢崇さんによる道南にちなんだ講演とクイズ」を予定しております。藤田さんは91期の卒業生で、法政大学で教鞭に立たれている他、現在NHKラジオの「子ども科学電話相談」の答えてくれる先生としても活躍されています。今年度も昨年に引き続きオンライン開催となりますが、画面を通して皆さんで楽しめる企画を検討中ですので、ご期待ください。

91期 幹事一同

ふじみつたか

—藤田貢崇さんご紹介—



法政大学経済学部教授。北海道大学大学院理学研究科修了、博士(理学)。専門は宇宙物理学と科学ジャーナリズム。大学の教養科目の授業で天文学や量子力学を取り上げながら、理系科目を専門としない学生が興味を抱くような物理学を目指している。また、英科学誌Natureの公式翻訳者としての活動のほか、最先端の科学の世界を市民に広く伝えるために『ミクロの窓から宇宙をさぐる』(NHK出版)や『ブロックで学ぶ素粒子の世界』(翻訳・白揚社)などの執筆・翻訳活動も行う。大学周辺地域の住民に向けた毎月の天体観測会「星空探検隊!」の実施や、SSH指定校での講演などで科学の奥深さを伝える。

また、英科学誌Natureの公式翻訳者としての活動のほか、最先端の科学の世界を市民に広く伝えるために『ミクロの窓から宇宙をさぐる』(NHK出版)や『ブロックで学ぶ素粒子の世界』(翻訳・白揚社)などの執筆・翻訳活動も行う。大学周辺地域の住民に向けた毎月の天体観測会「星空探検隊!」の実施や、SSH指定校での講演などで科学の奥深さを伝える。



お問い合わせ event@kanchu.tokyo

第46回親睦大会、プチ親睦会についてのお問合せは event@kanchu.tokyoまでお願いいたします。

オンライン開催のご説明

今年もZoomを利用して開催します。皆様はご自身の端末からオンラインでご参加ください。インターネット環境さえあればどこからでも参加できますので、東京支部の会員ではなくても函館中部高校の同窓生であればどなたでもご参加いただけます。配信本部において進行するイベントの他に、期ごと、部活ごとなどの小規模のルームを用意いたしますので、お好きな場所に移動してご歓談いただくことができます。昨年同様、専門家の方に当日のオペレーションをお願いします。さらにZoom初体験の方など参加にご不安をお持ちの方にも楽しんでいただけるよう、手順説明書の配布、事前リハーサルを兼ねた「プチ同窓会」、メールや電話によるサポートをしていただきます。また、親睦大会に向けて東京支部公式Webサイトに情報発信を行います。

参加申込み

① Web申込み **おススメ!**

ページ上部に掲載のQRコード、または支部サイト (<http://kanchu.tokyo/>) からお申し込みください。

② 返信用ハガキ

クロネコDM便で会報を受け取った方は、同封された返信用ハガキでのお申し込みも可能です。必要事項を記載してポストに投函してください(切手不要)。

- ⓘ 今回はWeb開催のため、①・②どちらでお申し込みをされても東京支部からのお知らせを受け取ることができるメールアドレスでの登録をお願いします。
- ⓘ メールの不達を防ぐため、①のWeb申込をお勧めしております。
- ⓘ お申込みいただいた方には、登録完了メールや当日までのご案内メールをお送りします。

参加費無料

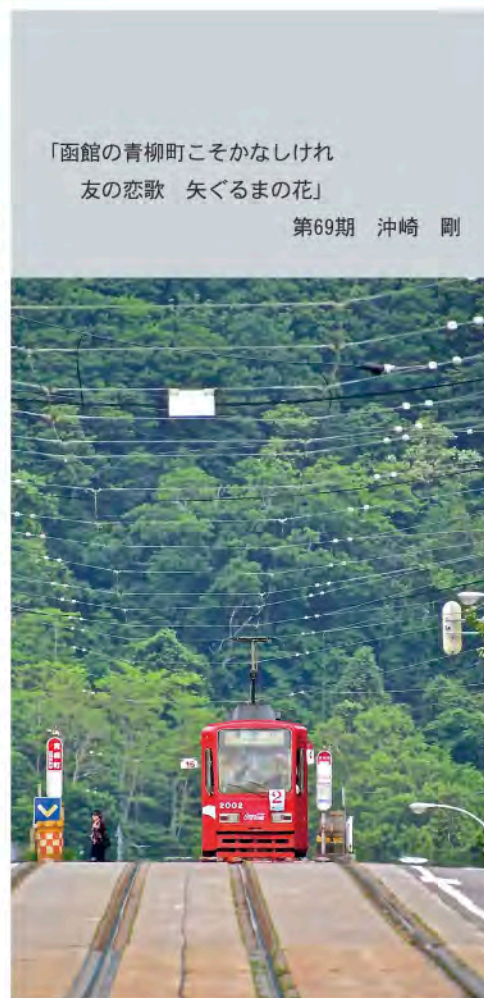
ただし、インターネットへの接続料金が必要な場合があります。ご利用されるインターネット環境によっては、予想外の費用が発生する場合がございますので、ご注意ください。ご自宅などのWi-Fi環境での参加をお勧めします。

プチ親睦会について

事前リハーサルを兼ねたプチ親睦会を3回程度行う予定です。函中同窓生であればどなたでも大歓迎です!

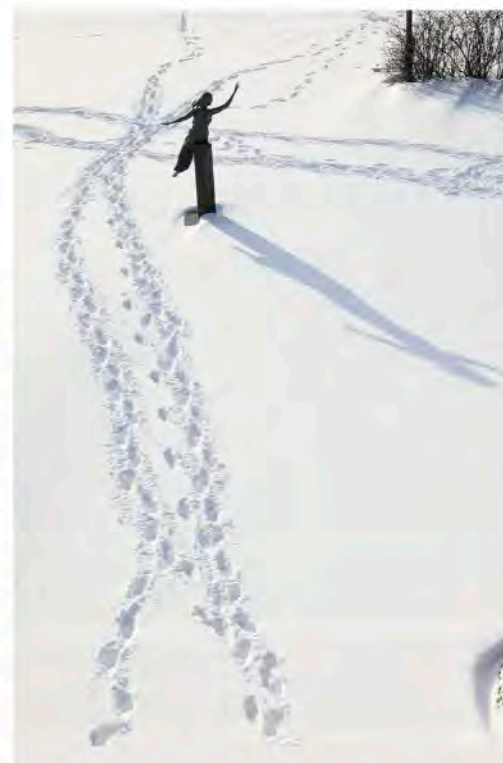
第1回 日時: 10月5日(水) 19時~21時

※第2回目以降の日程は東京支部公式ウェブサイトでお知らせします。



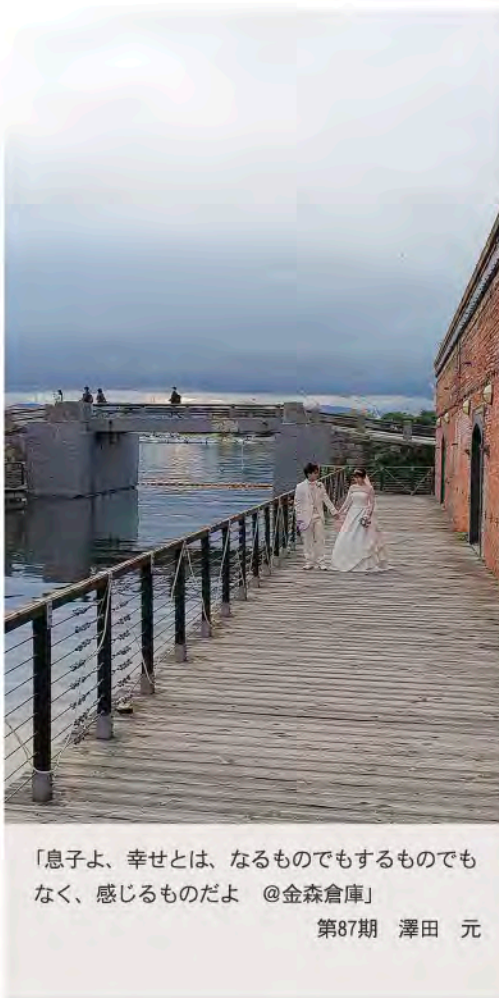
「函館の青柳町こそかなしけれ
友の恋歌 矢ぐるまの花」

第69期 沖崎 剛



「冬のモニュメント 函館大手町」

第87期 小葉松 隆



「息子よ、幸せとは、なるものでもするものでもなく、感じるものだよ @金森倉庫」

第87期 澤田 元

「俺はアカデミック・バーバリアンだから」佐藤先輩は何故かご自身の事をこう表現します。全日本選手権での優勝を果たした中部の先輩がいた事や、その先輩が、不滅の9連覇を果たした「世界の山下泰裕九段」の育ての親であり、一人の内弟子だったことや、井上康生前日本男子代表監督はじめ20人の世界チャンピオンを育てたことな



アカデミック・バーバリアン 64期の佐藤宣践(さとう・のぶゆき)さんが、2021年11月に「瑞宝中綬章」を受賞されました。是非「函中人」として取り上げさせていただくべく、東海大学(神奈川県平塚市)へインタビューに伺いました。



柔道をはじめたきっかけは中学時代 中学(北海道教育大学附属函館中学校)時代に、4つ年上の兄(60期 佐藤宣紘氏)から柔道を習ったことがきっかけだった。大きくなって強い兄のようにな



ど全く知らずに、昨年の東京オリンピックのメダルラッシュをテレビ越しに何となく観ていた自分を恥じました。 インタビューを終え、今の強い日本柔道があるのは「アカデミック・バーバリアン」たる佐藤先輩の功績があるのだと深く感銘を受けました。 あらためて、「瑞宝中綬章」の受賞、おめでとうございます。(インタビュー日:2022年7月1日、インタビューアー:松永、荒谷)

念願の全日本選手権制覇と、大切なことをたくさん学んだ博報堂での経験 大学入学前に3段に昇格し、念願だった全日本選手権への出

りたいという思いと、「柔道で強くなれる」という兄の勧めもあり、柔道に打ち込むことになった。 中部高校での練習場の思い出 当時の柔道部員は10人ほどであったため、警察道場や地元柔道家が開いていた道場などに出稽古に行っていた。中部高校の練習場は、旧体育館(新体育館隣にあった木造体育館)で、ダンス部や器械体操部の生徒も一緒に練習をしていた。その後、専用体育館の設置を高校に要望し、旧体育館の倉庫を専用道場に改造したことで稽古に打ち込むことができた。 高3の時、全道大会の個人戦で優勝することができた。全国大会では予選リーグで1勝1分で抽選負けしたものの、引き分けになった選手がその後ベスト8まで勝ち上がったことから、全国での力を推し量ることができたことで、もともと柔道で自分を高めていきたいと思うようになった。

中部の後輩との結婚、山下泰裕九段との運命的な出会い 24歳の時に、67期の太田久美さんと結婚した。高校時代はちょうど入れ違いだったが、彼女のお兄さんが自分と同期で、しかも彼女が同じ東京教育大学に進学したことが縁となった。中部高校および東京教育大学時代にはバスケットの選手をしていたこともあり、スポーツに対する理解があったことが、後に世界的に著名な、山下泰裕九段(国際オリンピック委員会

場も大学4年の時に実現した。その時は、予選リーグで敗退したものの、もともと練習すればさらに上を目指せると思っていたところ、兄から「教員にはいつでもなれるから、全日本選手権で優勝を狙うなら、東京で柔道が続けるべきだ」と背中を押され、その当時実業団で強豪の仲間入りを果たしていた博報堂に就職した(博報堂柔道部は現在は廃部)。 博報堂では、柔道だけでなく、広告代理店の仕事のイロハも学んだ。ここで鍛えられたマネジメント力は後に東海大学で指導する立場になった時に大いに役に立った。



山下泰裕九段、国民栄誉賞受賞の際の記念写真(後列右から2人目)

(IOC)委員、IOC会長、全日本柔道連盟会長、東海大学副学長を育てることにつながった。 多くの世界チャンピオンを育てた東海大学教授時代 育ててきた教え子は1500人以上を数え、山下泰裕九段、井上康生七段、中矢力五段、高藤直寿五段、ウルファロン五段、塚田真希四段、田知本遥四段、朝比奈沙羅五段など20人の世界チャンピオンが誕生した。 中でも、山下泰裕九段は、九州学院の高校2年生の時に東海大相模に転校した際、内弟子として家族の一員として4年間(大学3年生まで)寝食を共にした。この間、彼はほとんど叱られたこともなく、日常生活や練習で得られたものを確実に吸



柔道家 —アカデミック・バーバリアン—

佐藤 宣践

NOBUYUKI SATO 64期

【略歴】

1962年 函館中部高校卒業
1966年 東京教育大学(現筑波大学)卒業
1966-1968年 博報堂
1969-2012年 東海大学
(体育学部教授、学部長、スポーツセンター長歴任)
2012-2020年 桐蔭横浜大学(副学長、学長)
現在 東海大学名誉教授、東海大学柔道部主席師範
柔道9段

【競技歴】

1967、1973年 世界柔道選手権大会優勝 93kg級
1968、1971年 全日本体重別選手権大会優勝 重量級・93kg級
1974年 全日本選手権大会優勝 無差別など

【指導歴】

東海大学柔道部監督16年、総監督10年、師範27年
世界選手権日本チーム監督 4回
ロス五輪日本柔道チーム監督
シドニー五輪日本選手団総監督
山下泰裕、柏崎克彦、香月清人、中西英敏、越野忠則、須貝等、中村3兄弟、井上康生、中矢力、高藤直寿、羽賀龍之介、ペーカー・茉秋、橋本壮市、ウルファロン、景浦心、塚田真希、田知本遥、朝比奈沙羅など20人の世界チャンピオン他多数の国際的選手を育成

【役職】

1988-2013年 全日本柔道連盟副会長(7年間)
2006-2016年 全日本学生柔道連盟会長(10年間)
1997-2001年 JOC 理事(4年間)
1989-1997年 国際柔道連盟(IJF)教育理事(8年間)



S34年(1959年)3月



S36年(1961年)7月 全道大会優勝 2位中村(函西)



S36年(1961年)卒業アルバムより 柔道部
監督・部長:三次誠一郎 3年12人/2年4人/1年4人



S49年(1974年)
全日本柔道選手権大会
優勝



S54年(1979年)
3回目 全日本学生柔道優勝大会 優勝



S52年(1977年)6月 全日本学生柔道優勝大会
東海大学 初優勝 狂喜するメンバーたち



S59年(1984年)7月
ロスオリンピック MTG



S60年(1985年)
全日本 山下連覇



紅白帯。柔道では六段から八段の人が締められる

収めていき、1977年から1985年まで全日本選手権9年連続優勝をはじめ輝かしい記録を打ち立てた。

この当時、柔道の世界では、「木村(※注 木村政彦七段のこと、15年間不敗のまま引退)の前に木村なく、木村の後に木村なし」と言われていたが、山下泰裕九段の登場により、その格言は覆されることになった。その後、自分の弟子で山下泰裕九段に一番近い存在だったのが、井上康生七段(前日本代表監督、東海大学教授(現職))であった。

定年の挨拶まわりで受けた忘れられない言葉

65歳の定年を迎えたとき、それまでお世話になったスポンサー企業の皆様方にお礼の訪問をした。東洋水産(マルちゃん)の森和夫相談役(東洋水産の創業者)に挨拶で伺ったところ、当時93歳の相談役に次のようなお言葉をいただいた

『65歳で定年とはもったいない。65から75歳の10年間は、自分が一番いい仕事ができたと思っている。健康であればいい仕事ができるので頑張ってください。』

定年後、少しゆとりが欲しいと考えていた自分としては若干驚いたが、その後、縁あって桐蔭横浜大学の副学長、学長を務めることになる。森相談役が言ったとおり、67から76歳までのこの仕事で、人生で一番の仕事だったと思っている。

卒業生で、65歳に近づいている後輩に特に言いたいのは、「健康であればいい仕事ができる」ということと、「65歳からの10年間で、人生で一番良い仕事ができるよう健康であってほしい」ということ。

78歳になった今も健康づくりは欠かさずしており、週3回の柔道指導、週2回の水泳のほか、剣道は週1回を続けている。

瑞宝中級章受章について

長年にわたり、柔道の普及と指導に努めてきたことが認められたことに対して、受章できたことはとてもうれしい。また、東海大学だけでなく、副学長さらには学長を務めた桐蔭横浜大学での経験も大きかったと思う。(桐蔭横浜大学では、中部のお子さんを指導されたこともあったとのこと)

中部の後輩へ

(「中部のアカデミック・バリアン(本人談)」からのメッセージ)

自分は柔道に巡り合っていないから、今のような人生を送ることができなかつただろう。自分の場合は、柔道という好きなものに巡り合ったことが非常に大きく、頂点を目指したことで長く続けることができたと考えている。

力必達



自分に合ったものは必ずあるはず、それに向けて己を尽くすこと、これが一番大切である！(参考資料)

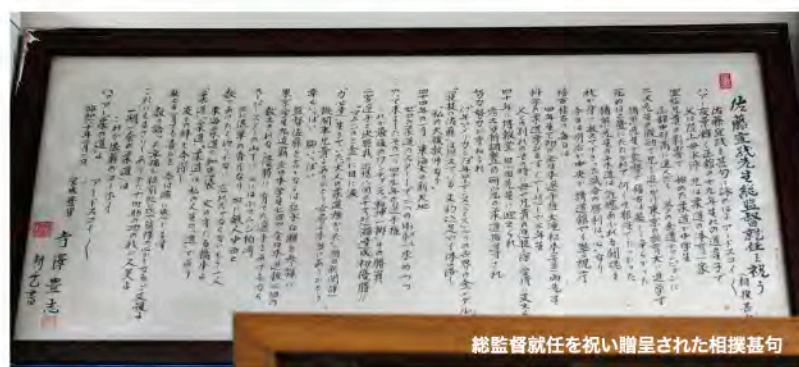
『力必達』(佐藤宣哉先生退職記念集 東海大学体育学部武道学科柔道コース・柔道部40年の歩み) 東海大学出版会 2009年3月

『私のなかの歴史 「柔道と生きる」 北海道新聞 夕刊 2014年9月8日から27日 聞き手 四ツ屋 久夫

同期の佐々木(旧姓中村)京子さんからのメッセージ

佐藤さん、この度は、「瑞宝中級章」の受章おめでとうござい

ます。佐藤さんとの思い出は、いくつもありますが、中でも「高校時代早弁したこと(あの体格なので昼までもたない)」、「昔、山下泰裕氏との子弟対談が武蔵野市で行われたのでお会いしたら、二人とも函館弁で話されていたこと」は、今でも記憶に残っています。



総監督就任を祝い贈呈された相撲基句



います。内容は、ハト派の大統領（私）とタカ派の政治家（先輩）の話。一年生で訳が分からないまま、政治的メッセージ満載の劇で大統領を演じた後、その三年生の部長は「君、なかなか才能あると思うよ」と適当なことを言いおいて、卒業して行かれました。

それからずっと、函館中部高校演劇部部員は私一人。三年生の終わりに運動部などを退部した同級生が数人入部してきましたが、お芝居は最後までできませんでした。兼部で放送局に入り、そこは沢山の優しくもユニークな先輩や仲間にも恵まれ、ラジオドラマを制作したりして楽しく過ごしましたが、ライブで演劇したいなという思いは心の中に封印されたままです。

第二の人生を見つめて
五十代になると、定年後も人に関わりサポートする仕事がないと思うようになり、イメージコンサルタントとコーチングの民間資格を取り、副業を始めました。

演劇も「なぜこの人はこの台詞を言わなければならなかったのか」と深く心理を読み込まなければなりません。きつと昔から、他の人のことを理解したいとい



大学時代は競技ダンス部
卒業後進学した東京外国語大学では競技ダンス部に入り、プロの先生について、ダンス演習の毎日を送りました。やっぱり時間をかけて努力すれば、それなりに上手くなります。全日本大学選手権ルンバの部で五位に入賞したりしました。

大学卒業後は、ダンス部で知り合った先輩と結婚し、夫の海外赴任に帯同して中国北京市、米国ボストン、ワシントンDCと九年間外国で暮らしました。

その間、二人の息子の育児や家事、東京に戻ってからは旅行会社での勤務とやらなければならぬ役目で毎日を一生懸命過ごしました。

退職後は自分のやりたいことを去年、コロナ禍で経営が厳しくなった旅行会社を退職することになりました。長く勤務した会社を退職するのは寂しかったですが、これを機に副業で独立し、残りの人生は自分のやりたいことをやろうと思えました。「あの時できなかった演劇をやろう」。そんな時、思い出したのが演劇でした。

文学座の門を叩く
長い歴史のある有名劇団「文学座」でシニアクラスがあることを知り、オーディションを受けることにしました。オーディ

「演劇部に入りたかったですけど」
一九八二年四月、記憶は定かでないですが、たしか函館中部高校演劇部顧問の国語教諭 田中勉先生にお願ひしに行きました。

「演劇部に入りたいたいですけど」
そう顧問の先生に言いに行ったのは二回目。一回目は戸倉中学の時でした。「演劇部は休部中なんだよね」と顧問だった英語の先生はおっしゃって、「いやいや昔は部員もいて、活動もちゃんとやっていた。シェイクスピアの『ヴェニスの商人』をやった時、衣装をやった子が東京で有名な美容師になってね、あ、今度あなたも女優になったら、あいつに頼んでヘアメイクしてもらおう。紺野美沙子はいいいよね、あははは」と長い思い出話にお付き合いする羽目になりました。

その英語の先生の元で中学英語暗唱大会に出場して優勝したり、なぜか卒業式の司会をやらせてもらったりしましたが、結局演



田中 勉先生

シオンでは、日本の演劇界の第一人者西川信廣先生や俳優の大滝寛先生、他の俳優さんたちが囲む中、課題の台本をもらい、演技してみます。

西川先生に「演劇経験はありますか。」と訊かれ、「ほとんどありません。高校時代の演劇部は部員が私一人だったため、舞台がほぼやれませんでした。そこで、やりたかったことを今やりたくて来ました」と正直に伝えました。

「学校時代は何をやったの？」
「オリジナル脚本を一回だけやりました。顧問の先生が別役実好きで、私は王道ラブストーリーがやりたかったのに、意味が分からなくて困りました」と言う

西川先生や周りの俳優さんが「別役実だつてさ」と笑いました。

後になって、別役実さんは文学座のために多く脚本を書きおろした方だったと知りました……要するに、私はそんなに舞台を見ることもなかったし、演劇に対して完全無知だったということです。

それでも奇跡的に合格させていただき、週二回五時間、文学



夢を追って文学座 岩本美雪

MIYUKI IWAMOTO 87期

- 【略歴】
- 1985年 北海道立函館中部高等学校卒業
 - 1989年 東京外国語大学外国語学部フランス語学科卒業
 - 1989-1990年 株式会社ミキハウス
 - 1990-1993年 日本ジョンソン&ヒギンズ株式会社
 - 1993-2006年 中国北京および米国ボストン在住
 - 2012-2021年 ベルトラ株式会社
 - 2019年～ 国際イメージコンサルタントおよびエグゼクティブ・コーチとして活動
 - 2021年～ 女優活動開始
 - 2人の息子の母

二人だけの演劇部
そんな中でのリベンジ。一九八二年四月、知の殿堂 函館中部私は「今度こそ、演劇ができる！」と田中先生の眼鏡をかけたお顔を真剣に見つめていると、「部員が少ないんだよね。今は三年生が二人しかいないんだ」とのこと。

「別役実っていう脚本家がいるね、不条理劇のだけだね、たとえば電信柱に向かって男がずっと話しかけている。それはどういう意味を持つかわかりますか？」と延々別役実論を聞かされる羽目になりました……。

国語を習ったことはありませんでしたが、とても真面目で優しい先生でした。

演劇部三年生の先輩はたしか、佐々木さんと言ったと思います。あれ、「窪田さん」だったかな？（先輩、もしこの記事見ていたらご連絡ください！）

記憶が曖昧なのですが、その先輩は書下ろしで脚本を書き、もう一人の先輩と二人劇をしました。たしか、文化祭だったと思

劇部が復活することはなく、先輩の有名美容師にヘアメイクしてもらったこともありませんでした。

株式会社イコー建設
一級建築士事務所
代表取締役 佐藤 一廣 (69期)
〒165-0033 東京都中野区若宮1-28-1 野方会館2F
電話: 03 (3223) 0168(代) FAX: 03 (3223) 0658
mail: k-sato@f-rn.co.jp

火ばしら会
東京支部
昭和42年卒業
69期

座での稽古が始まりました。仲間の二十名は経歴も個性も色々。一橋大学卒業の美人弁護士、二期会所属のプロのオペラ歌手、普通の主婦、往年の有名服飾デザイナー、シンクタンクを定年退職した方、演出家の奥さん、介護職、これまで関わったことのない方々と出会うことができました。

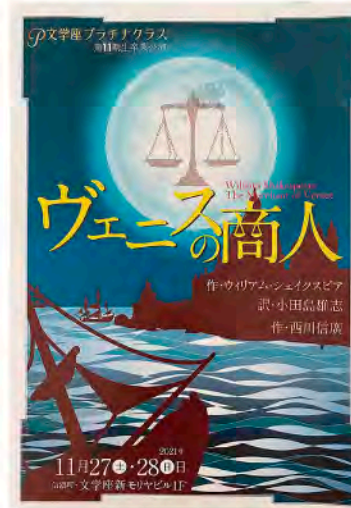
文学座シニアクラス



演技は発声練習から始めるのかと思いきや、文学座は全く発声も活舌練習もありません。みんなでゲームをしたり、脚本を国語の授業くらいに共に深く読



みこんだり、とにかく人との関わりを大切にします。ちゃんと相手役の話を聴くこと、相手に話しやすい台詞をかけること、演技はエゴでなく利他主義だと西川先生は教えてくれました。そうして、二〇二一年十一月、コロナの中でも無事に卒業公演「ヴェニス」を行うことができました。私はバツサーニ



オという若い男性の役をさせてもらいました。演劇は俳優であろうと、大道具、掃除、舞台装置のバラシ、後片付けなど全部やります。そんなことも勉強できました。文学座出身の有名俳優さんが舞台をやっていた時のお話を聞くことも楽しかったです。

卒業

文学座シニアクラスを卒業後も、ご縁をいただき、二〇二二年五月に若い俳優さんやタレントさんと共に、コメディイをやらせていただくことができました。五本のオムニバスショートストーリーで、私はアメリカ人女性の役と高飛車な村長夫人の二役をやらせていただきました。これは商業演劇で顔合わせから二か月で舞台を仕上げなければならず、かつ、コメディイ独特の早いテンポで照明や音響とも息を合わせる必要があり、ジャンルや演家による舞台づくりの違いを経験することができました。

の早いテンポで照明や音響とも息を合わせる必要があり、ジャンルや演家による舞台づくりの違いを経験することができました。

伏線を取り 思えば、最初の舞台は中学の顧問の先生が口にされた「ヴェニス」の先生で、高校の先生が好きな別役実先生が活躍された文学座。なんだか伏線が繋がったようで、人生って改めて面白いと思います。学生時代は果敢だった自分が大人になり分別がついて、「やりたいな。でも、今は無理かな」とブレーキをかけていました。昨年はそんな殻を破り、刺激的で新しい第二の人生に飛び込むことができました。「自由」な魂の尊さを教えてくれた白楊魂が自分の奥に眠っていたのかもしれない。



124期の皆様へ

ご卒業 おめでとーございます！
新しい生活にはもう慣れましたか？
コロナ禍のため今年もまた新人歓迎会は中止となり、直接皆様にお目にかかることはできませんでしたが、11月5日(土) 14時よりZoomでの親睦大会が開催されます。函中の卒業生であればどなたでも参加できますので、お気軽に遊びに来てみてください。皆様の笑顔にお会いできますよう、お待ちしております！
※親睦大会の詳細は本誌8ページをご覧ください。



2019年新人歓迎会

72期 東京同期会への出席者数
2018年:52名 2019年:55名
コロナを乗り越えて、再会の時を待ちましょう!
函中72期東京同期会(東京さつき会)
(広告協賛)渡部総合法律事務所 新宿御苑前 電話 03 3355 5415 (代)



★コロナ前(2019年)のさつき会集合写真★

か と
弁護士 加戸茂樹 (85期)
(第二東京弁護士会所属)
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-8-3 四谷三信ビル5階
四谷東法律事務所
電話 03(5366)1601 FAX 03(5366)1602

行政書士白川事務所
代表 白川正広(76期)
mail: shirakawamasa@ybb.ne.jp
https://shirakawamasagyosei.com/



会員短信

令和三年8月、令和四年7月
迄の会費の払込票と返信はが
きのメッセージから



●渡邊 誠一(S17年卒44期)
慢性心不全再発予防自己管理中
で遠出はできませんので欠席しま
す。申し訳ありません。

●大久保 博正(S20年卒50期)
妻・56期大久保妙子(旧姓川上)
分も含めて、何時も白楊だよりを
ご送付頂きありがとうございます。

●小野寺 吉彦(S24年卒51期)
会報について 函館関連の記事写
真などのコーナーを可及的にもう
少し増やしたらよいと思う。

●山下 二郎(S25年卒52期)
札幌まで新幹線で行ける様に健康
に注意しています。腰をいたわりな
がらダンスをしています。コロナが無
くなる事を祈ります。

●南 卓夫(S29年卒56期)
いつも案内と白楊だより、ありがと
うございます。森づくりボランティア
の現役で元気にしております。欠
席しますが御盛會をお祈りします。

●小竹 嘉子(S30年卒57期)
毎年お便りありがとうございます。
コロナも節分すぎれば落ちつきま
すかね。(来年)お目にかかれるの
がたのしみです。地域活動も出来
ず、静かにしていますが、生活学校

●宮川 憲司(S40年卒67期)
お世話になります。どうぞよろしく
お願いします。

●安田 康次(S40年卒67期)
コロナがおさまり、又親睦大会で、
皆が集まれる様になる事を期待し
ます。

●山崎 徹(S40年卒67期)
会の運営、諸手続き、連絡等、大変
お世話になり誠にありがとうございます。

●大河原 綾子(S41年卒68期)
いつもありがとうございます。オン
ライン接続出来ず残念です。次回
楽しみにしています。

●木村 脩司(S41年卒68期)
創立120年記念以来、函館には行っ
ていません。コロナが早くおさまるこ
とを願っています。

●児玉 久美子(S41年卒68期)
オリンピックのボランティアは選手
村で一生に一度の経験させて頂
きました。

●重松 健二(S41年卒68期)
会社を息子に譲り、自分は会長職
に就き、いまだ現役で働いています。

●白崎 淳一郎(S41年卒68期)
11月20日は第3土曜日で、定例の
安全衛生委員会が開催されます
ので、残念ながら視聴できません。
●長崎 憲一(S41年卒68期)
お知らせありがとうございます。

での子供食堂はお弁当配布ですが、
何とかつづいています。キルト展も
なく、でもミシン掛けはして小物を
つくっています。

●武田 愛子(S31年卒58期)
いつも案内ありがとうございます。
残念ながら今回も欠席させていただきます。
おかげさまで年相応に元氣
な毎日を過ごしております。ご盛
況を！

●鏡原 澄子(S32年卒59期)
いつもお世話になっております。「東
京白楊だより」送っていただき、なつ
かしく拝読しております。

●飯田 幸平(S33年卒60期)
コロナ感染禍が収束してからの活動
を楽しみにしています。

●伊藤 紀子(S33年卒60期)
東京白楊だより、毎回来しく懐か
しく読ませていただいています。父、
姉、私と三人函中で、思い出深いも
のが有ります。私も81才になり、認
知症への道を三三三三と歩んでおり
ます。続けて下さる方々に感謝
しております。

●金子 茂子(S42年卒69期)
コロナ下でのオンライン開催お世話
様です。盛會でありますように。

●近藤(瀬川)千寿子(S42年卒69
期)
いつも会報送って頂きありがとうございます。
加できないですが、普段の生活に戻
つたら参加したいと思っております。

●竹本 義明(S42年卒69期)
名古屋芸術大学の学長を務め、12
年目になります。芸術を通じた人間
教育で社会貢献を目指しています。
人生100年時代。会員の皆様も芸術
に接して豊かな人生を過ごされる
ことを願っています。

●花巻 省三(S42年卒69期)
ご無沙汰しています。コロナで自粛生
活が続けています。皆々様のご多幸
を祈念申し上げます。

●牧野 正寛(S43年卒70期)
次回(オンライン開催でない場合)
には出席したいと思っております。

●川村 哲雄(S44年卒71期)
昨年同様今年も71期東京地区
同期会開催を取り止めましたが、
会場の「銀座ライオン7丁目店」も
昨年と今年の予約を延期して、令和
4年6月19日(日)13時~15時で
引き続き予約しています。

●会長幹事を20年余り勤め、今年の
3月3日に逝去した「加納元雄君
を偲ぶ会」と併せて、来年「そは東
京地区同期会の開催を願っています。

●上平 慶一(S33年卒60期)
大変な時ですがお世話になります。
私もこの10月で82歳となり、体の
衰えは感じますが、NPOなどの
社会貢献は続けています。大変
残念ですが、沖縄在の娘夫婦一家
が久しぶりに上京し、上野動物園
を案内する日と重なってしまいまし
た。御盛會を祈ります！

●佐藤 大(S33年卒60期)
御案内ありがとうございます。又
いつも白楊だよりを有難う御座い
ます。親睦大会は欠席しますが盛
會を御祈りします。

●中角 久典(S33年卒60期)
海峽を2つ渡って、現在佐賀県の基
山町で大きな故障もなく何とか元
氣で生を愉しんでいる状態です。九
州では同期の木原君も元氣で暮ら
しています(宮崎小林市)。学区制の
変更とやらで母校の後輩の消息を
目にする機会が少なくなった様な
気がして若干寂しいです。

●菊池 紀邦(S34年卒61期)
コロナ完結しましたら出席します。
●佐々木 住明(S34年卒61期)
年相応ですが元気に過ごしていま
す。オンライン親睦会の盛況を願っ
ています。

●佐藤 剛(瀬川)千寿子(S34年卒61期)
東京白楊だより4号ありがとうございます。
ございました。編集もさぞ大変なこと
と思います。心からお礼申し上げます。
会員「コース」の第81期俵晶子さま

●酒井 隆行(S44年卒71期)
まだ覇気があります。まだ元氣に
常勤です。朝6時に家を出て8時
30分から仕事です。夕5時に仕事
終って家に7時頃に帰ります。豪華
客船で世界一周したいのですが、
仕事をやめさせてくれません。皆様
も健やかに！

●出崎 太郎(S44年卒71期)
東京の会社から気仙沼市での2年
間の震災復興の仕事を経て実家の
江差へ戻って4年になります。今度
の会報で加納さんが亡くなったこ
とを知りました。クラスで一緒にな
つたことありませんが、こちらへ来
てからもメールをいただいていたの
で、とても寂しいです。ご冥福をお
祈りいたします。

●殿谷 道子(S44年卒71期)
いつもお世話になっております。加
納さんが亡くなられたことを知り、
驚いております。御冥福をお祈りし
ます。

●古川 哲明(S44年卒71期)
お世話になっております。コロナが
早く終息し、会合等が以前の様に
できることを祈っています。

の科学的に正しい「若い生き
方」とは？興味をもって読みました。
本をもとめてみたいと思いました。
コロナ禍が落ち着いたら是非皆様
とお目にかかりたいと思っております。
よろしくお願ひいたします。皆様、
ご自愛下さいませ。

●五川 修(S35年卒62期)
御苦労様です。懐かしく拝見。継続
は力なりですね。

●伊東 明(S36年卒63期)
御苦労様です。今はコロナでダメで
すが、関東在中の同期と年々2回会
っております。来年3月28日は上野
精養軒でお花見会です。20名位力
ナ？

●杉沢 雅(S36年卒63期)
東京白楊だより、ありがとうございます。
います。なつかしい名前を発見した
り、以前の特集(洞爺丸事故など)
を再読したりして、函館に思いを馳
せております。

●中村 崇(S36年卒63期)
毎々ご苦労様です。小生2021
年7月より札幌に定着しています。
時々上京しますのでよろしく。

●横井 修一(S36年卒63期)
故依田洋次君から同窓会参加、
出席を熱心に勧められました。

●田中 公子(S37年卒64期)
楽しみにしていた喜寿の同期会も
延期。令和4年にできればいいので
すが、それまで元氣で！表紙の
写真、毎回ステキです。桜の函館公

●小山 隆行(S45年卒72期)
10月中旬に函館に引っ越しする予
定です。

●笹川 浩史(S45年卒72期)
コロナ下での同窓会活動ありがと
うございます。リアル大会の再開を
心待ちにしております。

●谷口 雅典(S45年卒72期)
お世話様です。10月より人生終盤
に入りました(古希)血液、尿検
異常無し！

●会田 美恵子(S47年卒74期)
早く同級生諸氏のお顔を見てお話
したいです。

●五十嵐信博(S47年卒74期)
卒業半世紀を経て、幸いにも多少
は世のお役に立てています。皆様の
ご健康をお祈りします。

●池田 新(S47年卒74期)
ご苦労様です。コロナの影響で、この
2年帰国していません。高校時代
がいつも懐かしく思い出されます。

●小澤 敏之(S47年卒74期)
東京白楊だより、いつもありがとうございます。
ご返事が遅くなりました。今年ようやく完全退職
いたしました。これから毎日何をし
ようかと考え中です。

●稲 晶子(S47年卒74期)
ご連絡ありがとうございます。この
状況が収束に向かい、同窓会の活
動もできる様になりますことを祈っ
ております。

●平沢 修(S47年卒74期)
昨年函館に戻りました。

園を歩きたいと思ひました。
●一戸 光一(S38年卒65期)
お世話になっております。セキリテ
ィ対策よろしくお願ひします。

●渡辺 千穂子(S38年卒65期)
申し訳ありません。なかなかオンラ
インにはついていけません(メールや
ラインはしますが)ずっと対面の仕
事をしてるので(今はパートです
が)顔を見てお話ししています。

●石塚 昌子(S39年卒66期)
お世話をいただいている皆様、あり
がとうございます。いつの間にか孫
の世代にと改めて年令を思い出し
て、えっといった感じです。コロナその
他で同期の方々との連絡も途絶え
がちでさびしく感じております。

●井上 保彦(S40年卒67期)
白川様、同窓会の運営ありがとうございます。
ご返事が遅くなりました。東京白楊だよりVOL
44同期会だよりにとりあげていた
だきありがとうございます。写真の
左から三人目が私です。松田さん、
加賀さん、安田さん等には大変お
世話になっております。同期会だよ
りの先頭になつてしまつた年令となつ
たようです。

●相馬 研二(S40年卒67期)
東京白楊だよりのご送付ありがとうございます。
うございました。コロナが終息し、い
つもの日常生活に戻ることを願っ
ています。

●高木 隆弘(S40年卒67期)
高校野球で甲子園に行きたい。

●八木橋 恵子(S47年卒74期)
毎年、同窓会の便りをお届けいた
だきありがとうございます。

●阿部 明夫(S48年卒75期)
コロナ禍の折、何かとお疲れ様です。
地元のみなさんの生活や商売も気
になります。先日は「アップガナ、
ラッキー」エロのレトルト食品、農
家さんの名前入りの直産野菜を偶
然眼にし、即買いました。コロナを
乗り切りましょう。

●金丸 洋一(S48年卒75期)
退職後、ゆつくりです。すつもりが、コ
ロナで大変な世の中になり、経験し
たことのない生活があたり前になつ
てきています。以前のおだやかな普
通の生活が早く戻り、函中同窓会
が行われることを祈っています。

●星見 定広(S48年卒75期)
東京白楊だより表紙裏の大森浜
から見た函館山がなつかしいです。

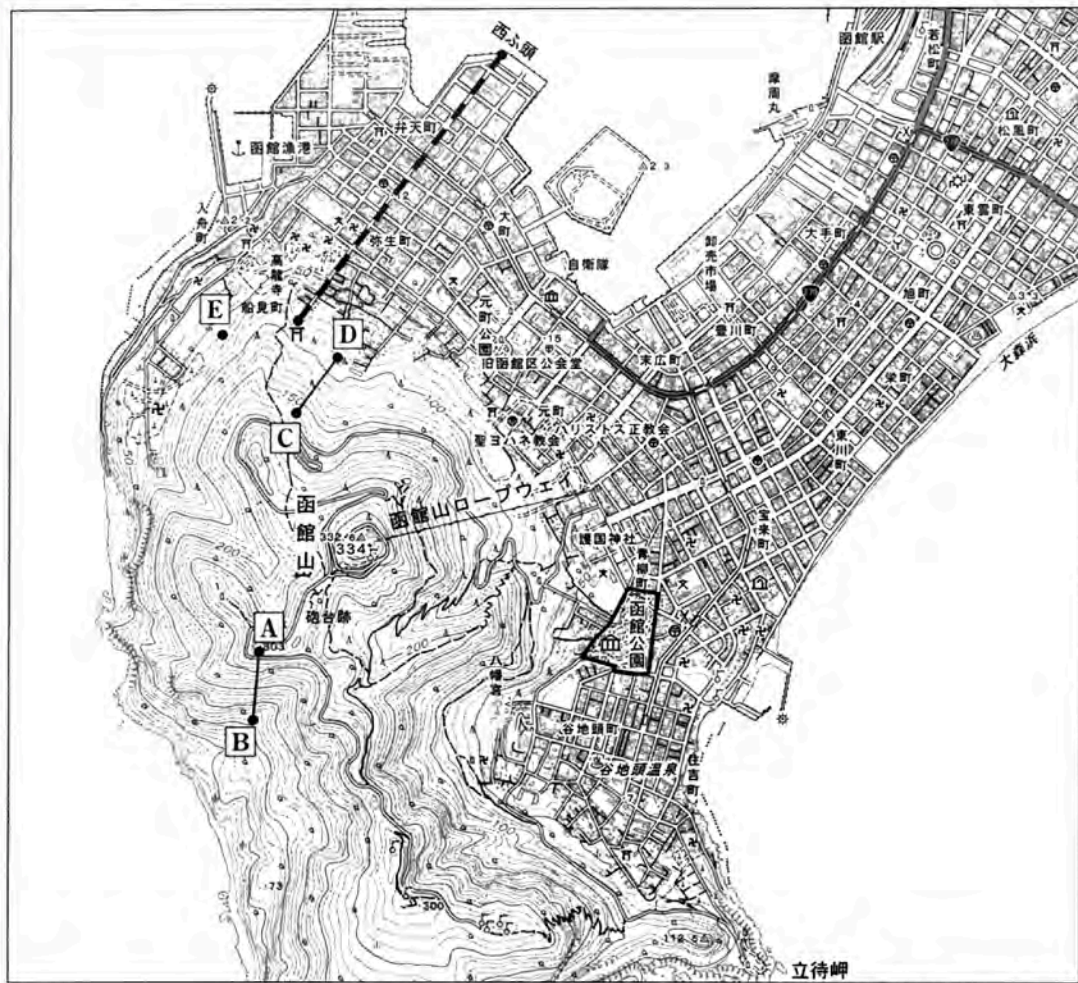
●高山(石井)悦子(S49年卒76期)
「東京白楊だより」ありがとうございます。
函館公園内の見事な桜!!
函館の春を懐しく思い出してあり
ます。皆で集う事がなかなかできな
い「コロナ禍」。いつかは同期会など開
催できるようになりましたら、又参
加したいと思ひます。





ちょっと一息 函館クイズ

次の地形図は、図中の北海道のある地域を示したものである。これを見て、あとの①、②の問いに答えなさい。



めもりり 5cm (国土地理院 平成28年発行1:25,000「函館」原図より作成)

① 次の資料は、ももさんが、地形図から読み取ったことがらをまとめたレポートの一部である。資料中の下線部ア～エのうち、内容が誤っているものを一つ選び、その符号を書きなさい。
資料 ももさんがまとめたレポートの一部

斜面の傾斜	A—B間よりもC—D間の方が傾斜が緩やかです。
函館山周辺の観光地	——で囲んだ函館公園の敷地内には、博物館があります。
山頂との標高差	函館山の山頂から見てほぼ南東の方向に立待岬があります。
	函館山の山頂と地点Eとの標高差は300m以上あります。

② 地形図中の●—●線は、西ふ頭から函館山のふもとの神社までの経路を示したものである。この経路の距離は約何mか。実際の距離として最も適当なものを、次のア～エのうちから一つ選び、その符号を書きなさい。
ア 約500m イ 約1,250m ウ 約1,750m エ 約2,500m

出典：2022年 千葉県公立高校入試問題より
解答は本誌24ページに！

- 干場 薫(S49年卒76期)
会報ありがとうございませう。会報に叔父さんの名前を見つけてました。お元気そうで何よりです。3月名古屋ウイメンズマラソン2021を完走しました。
- 松井 直人(S49年卒76期)
Web開催の準備など、御苦労様でございます。
- 山野 三紀(S49年卒76期)
2018年より静岡医療センター病理診断科勤務。本年4月よりシニア再雇用となりました。毎日多忙で、コロナ少し落ち着きましたが、まだ不安定です。何とか元気でやっております。土曜は何かと多忙で欠席させていただきます。
- 島津 路郎(S51年卒78期)
お世話になります。2017年1月肺がんからの脳腫瘍を発症し、今まで3度の手術と8種類に及ぶ抗がん剤治療に臨んで参りましたが、昨年5月千葉大学病院における抗がん剤治療にヒリオドを打ち、千葉市山王病院における緩和ケアに移り余命を過して参ります。したがってオンライン同窓会も欠席させていただきます。また2023年の新年あいさつ(年賀状)も失礼させていただきますので御了承下さい。
- 山平 匡人(S51年卒78期)
このご時世、会員諸賢の御健勝をお祈り申し上げます。
- 龜谷 憲司(S54年卒81期)
いつも大変お世話になっております。また東京支部の運営につき感謝しております。コロナ騒ぎが収束し、一堂に会する機会を楽しみにしております。Stay safe and healthy
- 田中 誠至(S57年卒84期)
いつもご連絡ありがとうございます。当方、後2年で還暦を迎えますが至って元気にしております。引き続き宜しくお願い申し上げます。
- 大山 康子(S58年卒85期)
お世話になりありがとうございます。一日も早くコロナが終息し、親睦大会や同窓会が開けるようになりますように。
- 丸山 比子(S58年卒85期)
調剤薬局で薬剤師をしております。残念ながら11/20(土)は出勤日の為、欠席いたします。初のオンライン開催、準備等で大変でしょう。ご苦労様です。
- 柳川 清尊(S58年卒85期)
昨年、今年とコロナ対応に追われた日々でしたが、ようやく終息を迎え何よりと存じます。当日は私用で東京不在となるので欠席させていただきます。
- 酒井 耕一(S59年卒86期)
新型コロナが続きますが、国内外にいろいろやる同窓生の益々のご健勝を祈念しております。
- 高橋 伸明(S59年卒86期)
ご案内ありがとうございます。本年度、東京支部に入会させて頂きました。今回は調整がつかず親睦大会は欠席致します。申し訳ありません。今後とも宜しくお願いします。
- 山田 力(S61年卒88期)
申し訳ありません。今年は所用があり出席がままならない状況です。来年は皆で集まって親睦大会実施したいですね。
- 萩野 真輔(H4年卒94期)
親睦大会の大成功と皆様の御健康、御活躍を御祈念致します。
- 山形 リサ(H4年卒94期)
早く普通に笑って話ができる世の中に戻りますように。
- 佐藤 一樹(H20年卒110期)
今般の世情におされ、地元の函館に帰れず2年が経ちました。ふるさとに思いを馳せつつ毎日過ごしています。そろそろ帰省ができるようになり、1日も早く戻る日が来ますよう、願うばかりです。オンラインでの開催、心より祈念しております。
- 間宮 千晴(R3年卒123期)
これからよろしくお願ひいたします。



函館中 高等学校第81期同窓会

運届祝いはできなかったけれど、また一緒に呑んで笑って旅したいですね。その日まで元気に過ごしましょう！11月5日の親睦大会はオンラインで会いましょう！**コロナに負けるな81期！**

函館の写真募集中!

随想 募集します
伝えたいことなど
1000字程度で
お送りください

募集! 自薦他薦問わず

1コマ高24x幅95mm 5000円
2コマ10000円
4コマ20000円

お問合せ・お申込み kaihoku@kanchu.tokyo

2021年度評議員会報告

2022年度の評議員会は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う蔓延防止措置下にあったため、2021年度同様、書面協議とし、結果、以下の(1)～(4)の審議事項について、すべて承認された。

(1) 2021年度事業報告

新型コロナウイルスの感染拡大により、新人歓迎会は中止となったが、親睦大会はオンラインで開催した。また、東京白楊だよりは、12ページ(例年の1/2のページ数)での発行となった。

理事会は、2021年度も対面での開催を避け、リモート会議の形式で開催した。なお、リモートでの理事会も正式な理事会として認められるようにするなど、1983年以降の規約改定を行った。

(2) 2021年度収支決算報告

2021年度も、新型コロナウイルス感染拡大の影響は続いたものの、親睦大会、会報の発行など最低限の活動ができる見通しが立ったため、年会費の徴収を再開した。しかしながら、例年、多くの皆様に年会費をお支払いいただく機会である親睦大会を対面で開催できなかったため、275名の皆様にお振込みを頂くにとどまった。こうした中で、寄付金は48名と2021年度の3倍以上の皆様から頂き、中には大口の寄付をしていただいた方もいらした。ここに感謝する次第である。

決算は、2020年度の反省を生かし、経費の節減に努めたことに加え、函館本部から助成金をいただいたことから、差引収支残は34,357円の黒字となった。2022年度も厳しい事業環境が続くものと考えているが、引き続き収支改善の実現を図りたい。

なお、真船監事より監査の結果、収支決算書が正しいことを確認したとの報告を頂いた。

(3) 2022年度事業計画案

親睦大会は、2021年度と同様にリモートで開催する方向で検討していることから(詳細は別掲)、参加費無料を想定している。

東京白楊だよりは、2019年度まで続いていた24ページでの発行を想定している。

その他、支部活動の活性化をはじめ、アフターコロナにおいても持続的な活動ができるよう、種々の事業の実施を計画している。

(4) 2022年度収支予算案

2021年度の収入・支出額それぞれの実績ならびに、2022年度の活動計画を踏まえ、年会費の増収と諸経費の節減を織り込み、収入支出とも148万円の予算とした。

(5) 役員の変任及び異動の件

2021年度の親睦大会において幹事期の企画立案・実施の主担当として活躍していただいた、90期の鹿野祥子様、新井久仁子様が理事に就任された。

また、これまで長年にわたり副支部長並びに評議員を務め、東京支部の活動に貢献されてこられた76期の高野勝弘様が退任された。

(松永 久(81期)記)

東京支部規約改定について(ご報告)

東京支部の規約は、1983(昭和58)年10月21日に施行された。施行から40年近くが経過し、現状の東京支部の活動に照らした際、いくつかの点で当時の規約にそぐわないものがあること、新型コロナウイルスの感染拡大によりリモートで理事会を開催したように当時は想定外だった会議形態が発生したことなど、規約改定すべき事項が生じてきた。

このため、2021年6月のリモート開催での理事会において「規約検討ワーキンググループ」の発足に承認され、理事の加戸茂樹弁護士(85期)をグループリーダーとしたメンバーで規約改定の検討を行った。その結果、2021年11月に最終案がまとまり、理事会と評議員会の承認を得て、2022年5月1日に施行した。

改定した規約の詳細は、以下のとおりである。なお、東京支部のサイトの「支部案内」では、改定後の規約のほか、改訂前の規約との対照表も掲載した。

東京支部サイト: <http://kanchu.tokyo/>

白楊ヶ丘同窓会東京支部規約

第1章 総則

(名称、事務所)

第1条 本会は、白楊ヶ丘同窓会東京支部と称する。

2 本会の事務所は支部長宅に置くものとする。ただし、理事会の承認を得て支部長宅以外の場所に事務所を置くことを妨げない。

(目的)

第2条 本会は、母校(北海道庁立函館中学校、北海道立函館高等学校および北海道函館中部高等学校をいう。以下同じ。)ならびに白楊ヶ丘同窓会本部および他支部との連絡を密にし、会員相互の親睦融和を図り、母校教育の精神を発揚し、母校の発展に寄与するとともに、函館市および同市内の他高校との交流等を通して、故郷の発展に貢献することを目的とする。

(組織)

第3条 本会は、通常会員および特別会員をもって組織する。

2 関東地区に在住する白楊ヶ丘同窓会通常会員(母校卒業生およびかつて母校に在学した者をいう。以下同じ。)を本会の通常会員とする。

3 前項の規定にかかわらず、関東地区に在住しもしくは在勤したことがあるなど同地区にゆかりのある白楊ヶ丘同窓会通常会員は、その者の希望により本会の通常会員とすることができる。

4 関東地区に在住する母校の旧職員は、特別会員とする。

第2章 役員

(役員、選任)

第4条 本会に次の役員を置く。

1) 支部長 1名
評議員会が評議員の中から選出する。

2) 副支部長 若干名
支部長が評議員の中から指名し、評議員会の同意を得て選任する。

3) 理事 30名以内
支部長が評議員の中から指名し、評議員会の同意を得て選任する。

4) 評議員
通常会員の中から、卒業回期別に互選する。互選する評議員の数は、各期1人から3人程度とする。

5) 監事 2名
議員会が通常会員の中から選出する。

(職務)

第5条 役員の仕事は、次のとおりとする。

- 1) 支部長は、本会を代表し、会務を統括する。
- 2) 副支部長は、支部長を補佐し、会務を分担指揮し、支部長事故あるときは、卒業回期の順により、支部長の職務を行うものとする。
- 3) 理事は、会務を分担処理する。支部長の指名により、理事のうち1名を会計担当理事とし、本会の会計を処理するほか、本会の銀行口座の開設及び管理を行う。
- 4) 評議員は、卒業回期の会員を代表する。評議員は、所属卒業回期会員の動静を把握し、会務執行に協力する。
- 5) 監事は、毎年1回会計を監査し、結果につき支部長および評議員会に文書をもって報告する。監事は評議員会に出席して意見を述べることができる。

なお、必要と認めた場合は、随時監査を実施することができる。

(任期等)

第6条 役員の仕事は3年とし、選出または選任された年の親睦大会終了をもって始期とする。ただし、再任は妨げないものとする。

2 役員が任期の途中で欠けたときは、後任の役員を選出または選任することができる。支部長および監事を除く役員は、必要があるときは、任期の途中であっても増員のための選出または選任をすることができる。

3 前項の規定により選出または選任された役員の仕事は、前任または現任者の残存期間とする。

4 支部長、副支部長、会計担当理事および監事は、その氏名および住所(監事にあっては住所の記載を要しない。)を就任時期(退任せずに再任された場合にあっては最初の就任時期)および退任時期とともにこの規約末尾添付の別表に記載する。

(顧問)

第7条 支部長は、評議員会に諮り、顧問を推挙することができる。

2 顧問は、支部長の諮問に応ずる。

第3章 会議

(会議の区分、構成)

第8条 本会の会議を分ち、評議員会および理事会とする。

2 評議員会は、評議員をもって構成する。

3 理事会は、理事をもって構成する。支部長及び副支部長は当然に理事となる。

4 第1項の会議は、支部長が招集し、議長となる。なお、理事会は、理事が定められた場所に出席して対面で開催することが困難な場合に限り、インターネットによるリモート会議等の映像と音声の送受信により相手方の状態を相互に認識しながら通話することができる方法によって開催することができる。また、評議員会については、評議員が定められた場所に出席して対面で開催することが困難な場合に限り、評議員が議案に対して書面または電磁的記録により示した賛否をもって評議員会の決議があったものとみなすことができる。

5 会議の議案は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。ただし、規約に関する議決は、評議員会の出席者数の3分の2以上の賛成を要する。

(評議員会)

第9条 評議員会は、次の事項につき審議決する。

- 1) 支部長、副支部長、理事および監事の選任または選出に関する事項
- 2) 規約の制定および改廃に関する事項
- 3) 会費、財務および事業計画(報告)に関する事項
- 4) その他議長が必要と認める事項

(理事会)

第10条 理事会は、次の事項を執行する。

- 1) 評議員会の決定および委任事項
 - 2) 会務執行に関し必要と認める事項
- 2 会務執行のため、会務分掌規程を設けることができる。

第4章 事業

(内容)

第11条 本会は、次の事業を行う。

- 1) 会報の発行
- 2) 会員名簿の作成
- 3) 親睦大会および新人歓迎会の開催
- 4) 本会のホームページの制作および管理ならびにソーシャルネットワークサービス等利用した本会の情報発信
- 5) 函館市および同市内の他高校との交流その他の渉外活動
- 6) 前各号のほか評議員会において必要と認める事項

(会報)

第12条 毎年1回会報を発行し、会員に配付する。

2 会報は、「東京白楊だより」と称し、会務、事業および財務その他必要事項を掲載する。

(名簿)

第13条 本会は、会員名簿を作成することができる。

2 会員名簿は、原則として非公開とし、頒布等は行わない。



「函館山空撮」第67期 吉岡直道(函館) 吉岡写真館

(大会)

第14条 本会は、毎年1回親睦大会を開催する。

2 親睦大会の運営方法は、理事会が決める。

(会員の動静)

第15条 会員は、その住所または氏名などに異動があるときは、速やかにその旨を所属卒業回期評議員に連絡するものとする。ただし、評議員が欠けている卒業回期に所属する会員は、本会に連絡するものとする。

2 前項の連絡を受けた評議員は、速やかに本会に連絡するものとする。

(会員の慶弔)

第16条 会員に慶弔あるときは、本会の名において慶弔の意を表すことができる。

(本部への事業報告)

第17条 白楊ヶ丘同窓会本部への本会の事業運営状況の報告は、会報により報告する。

第5章 財務

(財源)

第18条 本会の経費は、会費、寄附金およびその他の収入をもって充てる。

2 通常会員の負担する会費の額は、評議員会が別に定める。

3 特別会員は、会費の負担を要しない。

(剰余金)

第19条 剰余金は、次年度に繰越する。

(会計年度)

第20条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第21条 本会の銀行口座の名義は「白楊ヶ丘同窓会東京支部」とし、その代表者として会計担当理事とその住所を届け出る。

附則

第1条 この規約は、昭和58年10月21日から施行する。ただし、第6条第1項は、昭和60年度の大会の日から施行する。

第2条 昭和58年10月21日現に支部長、副支部長および監事の職に在るものは、第4条第1号、第2号および第5号の規定により、選出または選任されたものとする。

2 昭和58年10月21日現に理事の職に在るものは、第4条第4号に定める評議員に互選されたものとする。

3 昭和58年10月21日現に常任理事の職に在るものは、第4条第3号に定める理事に選任されたものとする。

附則(令和4年5月1日改正附則)

第1条 改正された規定は、令和4年5月1日から施行する。

第2条 この規約の原本は、支部長が署名捺印し、本会の事務所において支部長が保管する。

以上

発行人

白楊ヶ丘同窓会東京支部
白川正広(76期)

編集責任者
発行日

荒谷修司(87期)
令和4年8月24日

東京事務所

〒210-0846 神奈川県川崎市川崎区小田6-16-7 607
白川正広 044-366-2203

紙面デザイン ミライデザイン/イシバシキキョ

2021年度収支実績および
2022年度予算 (単位:円)

	2021実績	2022予算	
収入	年会費収入	825,000	1,110,000
	大会費収入	0	0
	寄付金収入	548,000	300,000
	会報広告収入	30,000	70,000
	その他	4	0
合計	1,403,004	1,480,000	
支出	大会関連費用	573,824	470,000
	会報関連費用	528,581	720,000
	その他事業	23,771	30,000
	諸会議費	90,217	25,000
	通信運搬費	34,323	35,000
	本部派遣費	0	0
	その他運営費	117,931	170,000
	予備費	0	30,000
合計	1,368,647	1,480,000	
差引収支残	34,357	0	
次期繰越剰余金	4,966,001	4,966,001	

ご寄付御礼

昨年度は59名の方からご寄付を頂戴いたしました。ご逝去された方もいらっしゃいますが、ご遺族様のご厚意によりお届けいただきました。ここにお名前を掲載し、御礼に代えさせていただきます。(敬称略)

- 47期 堀田善和
- 50期 大久保博正
- 51期 小野寺吉彦
- 52期 山下二郎 中田好實
- 53期 山内美年子
- 54期 渡部昌 山田幸平 山崎進
- 55期 高木幸子
- 56期 大久保妙子 南卓夫
- 57期 高見武彦 小竹嘉子 河井晃 水江晋一
- 58期 伏見俊満 谷口滋穂 八楯義郎 藤原正樹 川崎洋子
- 59期 新田正勝 及川守 真船昭 前波翠子 桶直義
- 60期 渡辺章子 越田正義 所明彦 飯田幸平 水江彰一 田村雅俊 宮川満子 柿沢隆治 内藤尚 中角久典 長澤明子 加藤ミヨ子 上平慶一 門脇啓子
- 61期 村本光彦 永田紀四郎 斎藤慎一 大久保泰宏 鈴木紀郎 米村光子 加藤紀興 玉村義孝 佐々木住明 佐藤穎
- 64期 二宮信子
- 72期 渡部敏雄
- 73期 葛西浩
- 75期 佐藤あや子
- 79期 本塚敦子
- 85期 柳川清尊 向井克彦
- 87期 三十刈俊之
- 89期 越前屋薫

年会費のお振込みをお願いいたします

白楊ヶ丘同窓会東京支部は、会員の皆様からお寄せいただく年会費やご寄付により運営されております。



年会費は、以下の方法で納入いただくことができます。

1 会報に同封の払込取扱票 (払込料金東京支部負担) を利用する
 ※2022年1月より現金でのお支払いは手数料110円がかかります。
 ※お送りした払込票を紛失されるなどしてご自身で払込票を記入される場合、加入者名は「白楊ヶ丘同窓会東京支部」、口座記号番号は「00190-1-124291」です。

2 払込票を使用せず、ご送金いただく場合
 便利なインターネットバンキングで送金したい等のお声をいただき、以下口座を開設し、ご利用いただいております。

銀行口座名称：「白楊ヶ丘同窓会東京支部」
みずほ銀行 溝ノ口支店 普通 2712051
三井住友銀行 鎌倉支店 普通 0202759
三菱UFJ銀行 用賀出張所 普通 0107761
ゆうちょ銀行 O-九店 当座 0124291 (ゼロイチキョウ)

※振込人氏名欄はスペースを空けずに、「期→卒年→氏名」の順でご記入ください。例：81S54ワタナベユミコ

3 振込手数料が必要な場合は、恐れ入りますが、振込人様のご負担をお願いします。

4 寄付について
 東京支部では80歳(今年は63期)までの皆様に年会費の納入をお願いしております。それより上の期でご寄付ををお考えの方、また下の期の方で年会費以外にご寄付をお考えの方は引き続きご支援宜しく願い申し上げます。

会計に関するお問合せ：payment@kanchu.tokyo (81期 渡邊)

-編集後記-

今年の会報は3年ぶりに24ページで行く!!理事会で方針が決まり、勇んで会報制作をスタートしたものの、同期会だよりの投稿も、函館の写真も、「なるほど! the TUBU」のネタになる記事も全くとっていいほど集まってこない、、、という事実と直面することになりました。長引く流行り病は仲間と酒を飲んで語り合う機会や、故郷に帰省することすら憚られるマインドにしてしまったのだなあと改めて痛感した次第です。そんな中、函中人で取り上げさせていただいたお二人の生き様はとて刺激になりましたし、卒業生の皆様におきまして人生100年時代をどう生きるかの参考になればと思い取り上げさせていただきました。来年こそは楽しい記事や写真がたくさん集まりますように!!! (荒谷@87期)

-校正協力(87期)-

海老名 徹/三十苅 俊之/熊谷 志麻/澤口 亜樹/山科 直樹/松本 篤史/末永 健/池田 智之/渡辺 岳夫

17頁写真：「GW前に早くも満開宣言 五稜郭公園」小葉松 隆 (第87期)

21頁 函館クイズの答
 ① エ ② イ

東京支部
ウェブサイト